



「多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築支援のための研修会」をオンデマンド配信にて開催！

令和3年11月30日(金)から12月6日(月)の期間において、オンライン配信による「多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築支援のための研修会」を実施しました。

「精神科救急医療体制整備に係るワーキンググループ報告書」(令和3年1月22日)では、「急性増悪・急性発症への即時、適切な介入」、「長期在院の防止」、「多様な精神疾患への対応体制の構築」といった意義がある精神科救急医療の体制整備に向けて、都道府県等が取り組むべき事項として「精神科救急医療体制連絡調整委員会や精神科救急医療圏域ごとの検討部会を活用した定期的評価・対応」、「危機時の迅速な訪問による当該者の意思を尊重した支援と適切な医療へのつなぎ」、「当事者・家族の参画の推進」などが示されています。

本研修会は、上記を踏まえ、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築及び、多様な精神疾患にも対応できる医療連携体制の構築に向けて、各自治体で取り組む基盤整備のあり方及び精神疾患の医療体制について理解を深めるとともに、さらなる医療連携体制の充実と、その実践を支援することを目的としています。

■研修内容

研修テーマ・講師	概要
<p>【行政説明】 ◎第7次医療計画の現状と第8次医療計画に向けた検討会について</p> <p>厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 課長補佐 田中 裕記 氏</p>	<ul style="list-style-type: none">・医療計画(位置づけ、内容)・第7次医療計画(精神疾患の医療体制、中間見直しのポイント)・第7次医療計画における各分野の取組(精神保健医療体制の高度化、各種事業において定められている拠点医療機関等)・第8次医療計画に向けた検討会(検討内容、スケジュール、地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制の実現に向けた検討会)
<p>【講義①】 ◎630 調査とその活用について</p> <p>国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 公共精神健康医療研究部 研究員/部長補佐 白田 謙太郎 氏</p>	<ul style="list-style-type: none">・630調査の概要・医療計画との関係性・調査の意義(長所・短所、把握できる内容)・調査項目(自治体、医療機関、訪問看護ステーション)・公表値の見方(集計データ、クロス集計、ReMHRAD)
<p>【講義②】 ◎NDB について</p> <p>一般社団法人臨床疫学研究推進機構 代表理事 奥村 泰之 氏</p>	<ul style="list-style-type: none">・NDB・介護保険DBについて・精神科の地域医療計画(目標、ストラクチャー・プロセス・アウトカム指標、指標の情報源)・NDBを活用した指標例



行政説明

第7次医療計画の現状と第8次医療計画に向けた検討会について

厚生労働省障害保健福祉部精神・障害保健課の田中裕記課長補佐より、現行の第7次医療計画の内容と第8次計画に向けた検討状況についての説明が行われた。

はじめに、医療計画は国の基本方針に即して都道府県が地域の実情に基づき医療体制の確保を図るために策定するものであること、医療圏の概要や5疾病5事業の考え方などについて述べた。そして令和6年度からは、「新興感染症等の感染拡大時における医療」を追加し、5事業が6事業になると説明した。



次に現行の第7次医療計画においては、精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進める必要があり、そのためにはメンタルヘルスに対する理解促進及び適切な初期支援の実践に向けた効果的な普及・啓発を促進することが必要と述べた。そして、第7次医療計画中間見直し後の「精神疾患の医療体制の構築に係る指針における指標例」を示すとともに、中間見直しのポイントについて説明した。

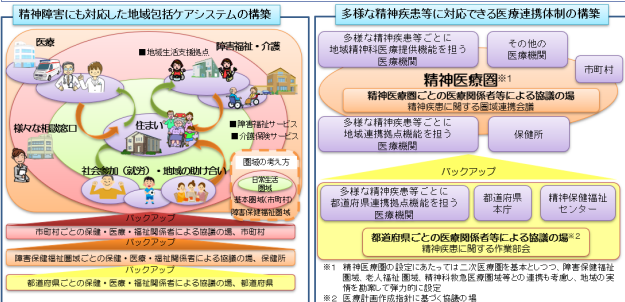
〈中間見直しのポイント〉

- ✓ 精神保健医療体制の高度化に関する項目に関する指標例を重点指標へ
- ✓ 厚生労働省の各種事業において定められている拠点医療機関等の実態について新たに指標例として追加し重点指標へ
- ✓ 地域の精神保健医療福祉資源の活用実態状況を網羅的に把握できる **ReMHRAD**をその情報源に追加
- ✓ **地域平均生活日数**を指標例に位置付け
- ✓ 地域住民の精神障害者に対する理解促進および適切な初期支援の実践に向けた **効果的な普及・啓発**を促進

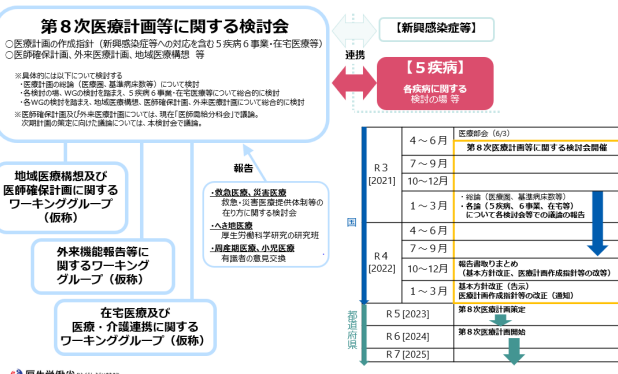
最後に、第8次医療計画策定に向けた検討体制やスケジュール等を説明するとともに、精神保健医療分野については「地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制の実現に向けた検討会」での意見を「第8次医療計画等に関する検討会」へ報告し反映していくと述べ、説明を終えた。

精神疾患の医療体制について（第7次医療計画）

- 精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進める必要がある。そのために、地域住民の精神障害者に対する理解促進及び適切な初期支援の実践に向けた効果的な普及・啓発を促進する。
- 全国レベルでも、全道にわたる精神科における入院患者（患者数）減少、地域移行に伴う緊急医療（特別救急）の確保を前提にした上で、障害福祉計画等と整合性を図りながら地域の精神保健医療福祉体制の基盤整備を推進し進める必要がある。
- 統合失調症、うつ病、躁うつ病、認知症、児童・思春期精神疾患、依存症などの多様な精神疾患等ごとに医療機能の役割分担を整理し、相互の連携を推進するとともに、患者本人の意思を実現していきけるよう、各医療機関の医療機能を明確にする必要がある。



第8次医療計画に向けた取組（精神分野イメージ）





講義①

■630調査とその活用について

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 公共精神健康医療研究部の臼田謙太郎研究員/部長補佐より、「630 調査とその活用について」をテーマにした講義が行われた。

最初に630調査の概要について説明した。「630調査」という調査名は6月30日の調査であることが由来していると解説。調査は自治体と医療機関、訪問看護ステーションの3部で構成されており、必要に応じて調査内容が変更されてきていると述べた。

次に630調査の目的は「精神保健医療福祉の実態を把握し、精神保健医療福祉施策推進のための基礎資料を得ること」「医療計画、障害福祉計画、介護保険事業（支援）計画等に活用すること」の2点にあると説明。精神病床を持つ医療機関の回答率が毎年9割後半もあり悉皆性が高いこと、その結果として制度変更の前後での変化を捉えることができる。また、多種多様な集計表を利用することにより、精神保健医療福祉の都道府県ごとの実態の把握・分析を行うことができることが630調査の長所であると説明した。一方、短所としては、基本的に1日あるいは1か月の動向しかわからない横断データであること、調査項目が多く回答者に負担がかかること、未回答機関の存在や回答エラーが結果に影響する可能性があることと述べた。さらには、NDBで把握困難な精神保健福祉法に関する自治体機能や施設の特徴、生活保護受給との関連、退院後の施設別の行き先の内訳などが把握可能と説明した。

続いて3つの調査（自治体、医療機関、訪問看護ステーション）の調査項目について説明を行うとともに、令和3年度に追加された調査項目を述べた。

最後に、集計データの見方や集計方法の手順、ReMHRADでの見方を説明し、講義を結んだ。



講義②

■NDBデータについて

一般社団法人臨床疫学研究推進機構 奥村泰之代表理事より、「NDB データについて」をテーマにした講義が行われた。

最初にNDBと介護保険DBの概要を説明。NDBは「レセプト情報・特定健診等情報データベース」（紙レセプトと保険外診療を除く）の略である。レセプトのデータベース化は2009年から、特定健診・特定保健指導のデータベース化は2008年から開始され、10年以上経過していると述べた。また、2011年度から研究者も利用できるようになったNDBの第三者提供制度（特別抽出・サンプリングデータセット・集計表情報）、利用者が直接出向き、データの利用・解析ができるオンサイトリサーチセンター、厚生労働省のHPで公表している「NDBオープンデータ」について説明した。

次に介護DB（要介護認定及び介護レセプト等の情報が格納されているデータベース）とNDBとのデータ連携が2020年10月から開始されており、他の公的DBとの連結も今後進められる予定と述べた。指標作成ツールとしてのNDBの強みは「高い悉皆性」「高解像度の診療行為（処方・検査・受診）、弱みは「プアなアウトカム（死亡・入院ぐらい）」「精度の低い院外死亡」「精度の低い診断名情報」だが、その弱みは介護DBと連結することで精度を上げることが期待できると説明した。

続いて、精神科の地域医療計画について指標を中心に説明。特に中間見直しの議論の中で「再入院率」の解釈が困難との指摘を受け、「地域平均生活日数」に替わったことが大きな変化と述べた。

最後に、NDBの活用指標例として「持続可能で良質且つ、適切な精神医療とモニタリング体制の確保に対する研究」（<https://seishin-chikouken.jp/ndb.html>）を紹介し、講義を結んだ。

